

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

上飯田地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

上飯田地区：縦に細長い地域。地域活動が活発で高齢者サロンや子育てサロン、健康体操クラブ等の地域活動が活発です。地域で積極的に活動している世代が65歳以上の方が多い。次代の担い手の発掘が課題。

上飯田団地：高齢化率が高く、地域の担い手も高齢者どうしで支えあいながら活動をしています。高齢者サロン等の地域活動も活発です。また、連合自治会としての組織がしっかり成り立ち、自治会で見守り活動に力を入れています。市営団地という特性上、低所得者世帯や障がい者世帯の入居が増えてきています。また、住民から精神に障害のある方の対応方法がわからないという声も出ています。

いちよう団地：外国人が多く住んでいます。日本人の高齢化の問題も出てきています。いちよう団地内にあるコミュニティハウスを活動拠点として高齢者サロン等の活動が活発ですが、毎回同じ方々が参加している様子。今後地域活動広めていく事も課題です

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- ・ 上飯田子育てネットワークに参加し公園遊びの企画や地域のお祭りに子どもスペースの提供などを通して子育て中の親子に地域情報やイベント、地域の子育て支援者を紹介した。
- ・ 障がい児を対象とした余暇支援を企画し、夏季余暇支援活動を行った。また発達障がい児の親の会であるスナックルズに参加し、活動の後方支援と「広報よこはま」での啓発を行い、活動の普及・活性化に努めた。
- ・ 介護に関する事、介護保険に関する事、地域で開催されているサロンなど、あらゆる相談に応じ、可能な限りの情報提供を行った。

(2) 各事業の連携

- ・月に一度、5職種（所長も含めて6種会議）を行い、各部署の動きや情報を共有し、連携を図った。
- ・また、各部署が連携して地域情報シートを作成し、情報を共有した。
- ・5職種会議以外にも、月末にケアプラザ全体で職員会議を行い、月ごとの報告と予定を全員で把握・共有した。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・今期も職員の欠員なく配置基準を満たした
- ・研修委員会を設置し、職員の資質向上を目的に7月・11月・3月に各研修を実施。また、各研修前に研修員会を開催し内容を精査した。研修終了後は報告書を作成し、各部署で回覧、情報の共有を図った

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・各地区社協主催の福祉祭りに模擬店を出店しケアプラザとして参加した。ケアプラザに関するPRを行い、ケアプラザの役割や内容について周知を行った。
- ・ヘルスメイトの方々と協力して、健康づくりに関する講座や料理教室を開催した。また、パパママ応援隊の方々と連携して子育て世帯を対象とした料理教室を年4回開催した。
- ・地域福祉保健計画の推進におけるチームの一員として参加した。
- ・日頃から地域の行事等に参加し住民と意見交換を行い、顔の見える関係作りに努めた。
- ・ケアマネジャー連絡会で民生委員との交流会を開催し地域福祉のネットワーク構築を図った。
- ・上飯田子育てネットワークを地域団体、関係機関と協力して開催し情報共有とイベントの企画を行った。
- ・上飯田地区で活動しているサロンの方々や体操教室の方々などを対象とした、カレーミーティングと題してかぼちゃの会の皆さんが作ったカレーライスを食べながらの地域活同団体交流会を開催した。団体同士の情報交換を行い、またサロンなどの活動の継続と発展について講演を行った。

(5) 区行政との協働

- ・上飯田町・上飯田団地・いちょう団地における地域福祉保健計画の作成・推進等、地域支援チームの一員として、定例の会議に出席し、意見を収集・集約し、各連携機関と情報を共有しながら計画を進めていった。
- ・高齢者見守り事業・認知症への取り組み・上飯田子育てネット・体力向上プログラム等を、協働で事業を展開した。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・毎週金曜日に「一番館ひろば」「カラオケ一番館」「かぼちゃの会」といった自主事業を行い、高齢者の居場所作りやコミュニケーションの場を提供した。また、年に二回ほど会食会を開催し、活動の活性化に努めた。さらに平成30年1月より一番館広場にて地域の障がい者支援施設のパンの販売を通して高齢者と障がい者の交流を行った（継続中）。
- ・パパママ応援隊と協力して年4回親子料理教室を開催した。「広報よこはま」で周知し、上飯田の地区に限定せず泉区全体に応募をかけ、新規の参加者を募って活動を活性化させた。
- ・年2回上飯田子育てネットワークと協力して公園遊びを開催し、子育て中の親子支援を行った。
- ・発達障がい児の親の会であるスナックルズに参加し、活動の後方支援と「広報よこはま」での啓発を行い、活動の普及・活性化に努めた。
- ・上飯田団地の集会場にて毎週水曜日に開催されているコミュニティカフェに参加し、運営の後方支援と参加者との関わりを通じて地域の情報を収集し、包括と情報を共有した。
- ・昨年度から開催している焼き芋事業を今回は災害避難地域へのチャリティーとして、区社会福祉協議会の協力を得て開催できた。障がい者、高齢者、子育て世帯など、多世代交流を行った。特に日頃から地域との交流が希薄な障がい者と地域との交流を図った。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・貸館団体交流会を行い、交流を通してケアプラザの年末の大掃除を行った。また、始めに改めて貸館に関する規則やより有意義に使用して貰うための説明を行った。今回は各月ごとに忘れ物リストを作成してはどうかという意見を頂き、早速リストを作成して
- ・福祉保健活動に対し、利用の規模が縮小してきた団体に対して活動のPRや共催事業の企画等、活動支援を行った。
- ・ヘルスメイトと共催で事業を行った。地場野菜を扱った料理教室と、成人病予防を目的とした料理教室を行った。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ボランティア名簿の整備・更新を行い、ボランティア希望者の活動内容等を考慮し活動場所の紹介を行った。
- ・「一番館ひろば」「かぼちゃの会」で活動しているボランティアと活動後に振り返りに時間を設け、今後の活動の展開について話しをした。
- ・上飯田地区の地域活動団体交流会を開催し、団体同士の交流の場や情報交換の場として設けた。また、各サロンの継続と発展について講演を行った。
- ・地域で活動している団体に出向き活動状況等の情報共有と情報提供を行った。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 会議のみならず、来館者や日常的な交流からも情報収集を行い、必要であれば包括と情報を共有し、地域の見守りの強化に繋がるように行った。
- ・ 地域のイベントに参加し介護等に関する情報提供を行った。
- ・ ケアプラザの広報誌「いずみ一番館」を年4回発行しケアプラザの情報を地域に向けて発信した。
- ・ ケアプラザでの事業を展開するごとにホームページの情報を随時更新し地域に情報を発信した。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・ “地域アセスメント” や “住民の声”、または “地域福祉計画” などから各地区の目標を設定し、ニーズや課題に取り組んだ
 - ＜上飯田地区＞ 「移送支援サービス」の継続とさらなる展開
 - ＜上飯田団地地区＞ 「自由な居場所作り」を継続。また栄区で事例として取り上げられた。
 - ＜いちょう団地地区＞ 「いちょうの会」（食事会）へ「移動支援サービス」を導入し、活動の活性化を行った。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ 地区にある資源情報をキャッチし、その都度調査してきた。
- ・ 上飯田 CP エリア内にある “福祉施設” の課題とニーズを確認し、地域ニーズとのマッチングを実施。

(3) 連携・協議の場

- ・ 上飯田 CP エリア内にある “福祉施設” と協議の場を持ち、地域に対して何が出来るかを検討した。（協議体の開催）
- ・ 近隣の “福祉施設” と連携し、地域行事（食事会、敬老祝賀会等）へ「移動支援サービス」を実施
- ・ 「上飯田町移動支援サービス」に携わってくれた方々を中心に、協議体を実施。（事業報告、事業展開等の検討）

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・ 区域全体における課題である “担い手不足” を補うため、泉区内の全ケアプラザが協力して取り組み、「ducks」事業等を展開することが出来た。またそこから新たな担い手を発掘。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・地域で活動する役員・V0だけでなく、講座などでパンフレットを配布し包括の説明を行い周知に努めた
- ・施設では認知症高齢者の発見につながるよう SOS ネットワークの説明も含め認知症の勉強会を開催、地域に積極的に出ていった
- ・関係性が深まり高齢者の個別ケース支援に役立てた

②実態把握

- ・ひとり暮らし高齢者の戸別訪問を行い、特に団地では新入居者や地域とかかわりをもたない方、又夫婦で高齢者の方を戸別訪問、状況把握を行う。把握の難し高齢者は民生委員、自治会役員と密に情報交換を行い情報の収集に努めた

③総合相談支援

- ・認知症（初期）であってもインフォーマルサービスの利用、予防事業への参加を勧め状況把握できるような見守り支援を行った
- ・介護サービスへのつながりが困難な高齢者は訪問を重ね関係を深めながら支援を行った
- ・住民相談会、出張相談会の継続実施は民生員などとの顔の見える関係作りに役立ち、民生委員から対応の仕方などの相談も入り、フォローする事ができた

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

○成年後見

- ・地区センターなどで老い支度・就活セミナーの実施
- ・認知症の勉強会、エンディングノートの説明会を行う、サロンなどでは区版のノートの配布、活用の仕方についてお知らせした
- ・講座、勉強会ではだれもが抱える老後の悩みや生活の不安を支援する場、今できる事の準備を伝えられた

○消費被害

- ・防犯や詐欺の被害に逢わないための勉強会、近隣にも目を向けていくことの大切さを学んだ
- ・市消費生活総合サービス相談員による講座の開催、悪徳商法から身を守ることを学び、未然防止としての情報提供を行った。

②高齢者虐待への対応

- ・ケアマネジャー、親族、本人からの訴えはネグレクトなど虐待の疑いのある高齢者の相談、訪問対応を区と連携し行った。また、成年後見サポートネットの弁護士に事前アドバイスをいただいたりし対応
- ・後見人の紹介では候補者の紹介、相談場所のセッティングを行い、スムーズに進行できるように対応した
- ・虐待防止には「介護者の集い」を定期的開催、内容も参加者と話し合い計画したことが実施でき家族支援として取り組めた

③認知症

- ・認知症の理解を広めるため認知症サポーター養成講座を実施、キャラバン・メイトの活動を支援しました。小・中学校 156名、地域住民・施設職員 24名
- ・エリア内キャラバン・メイト連絡会を年1回実施し情報交換および事前打ち合わせを行いました。また、養成講座の事前打ち合わせをその都度実施しました。
- ・脳いきいき講座に講座を実施し教室運営の支援を行うとともに、担い手の情報交換・スキルアップを実施しました。
- ・介護者支援として介護者のつどいを実施、グループホーム見学会や介護者の体験談を聞く等行いました。
- ・サービスにつながらない・訪問が難しい等のケースには認知症初期集中支援チームと連携し対応しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・介護保険制度や地域包括支援センター等の周知をはかれるよう、ケアプラザから離れている地域で出張相談会を開催しました。
- ・ケアマネと民生委員との話し合いが出来る場としての地域ケア会議やケアマネ連絡会を開催、近隣の病院（医師含む）訪問看護などの医療機関の方も出席して頂き、『医療連携』について話し合いを行いました。また同様に、障害施策の事業所の方にも出席して頂き『介護が必要になってきた親世代と障害を持つ子世代の家族構成』について意見交換を行いました。
- ・その他、ケアマネ連絡会として、久里浜医療センター、地域ユースプラザ、高次脳支援センターの方を講師にお招きし、講義や意見交換を行いました。

②医療・介護の連携推進支援

- ・ケアマネジャーが医療機関（歯科医含む）や調剤薬局との連携を持てるよう、地域の医療機関と調剤薬局の情報をまとめた冊子を更新しました。
- ・ケア会議やケアマネ連絡会の場において、医療機関の方に講義や参加をして頂き、意見交換も行いました。
- ・医療と介護の連携が推進されるよう泉区在宅医療相談室の主催する事例検討会や研修会等に参加しました。

③ ケアマネジャー支援

- ・対応が難しいケースを担当するケアマネジャーが問題を抱え込まないように、3職種で対応し、ケースによっては同行訪問やカンファレンスの開催等、問題を一緒に解決できるよう支援しました。
- ・ケアマネジャーの資質向上のため、ケアマネ向けの勉強会としてケアマネ連絡会を概ね毎月開催（区内合同開催含む）しました。
- ・新任のケアマネジャーに向けて、区内の包括協働にて研修を開催。介護保険サービスだけでなく、行政サービス、インフォーマルサービス等の情報提供や、施設見学、所属以外の居宅介護支援事業所に在籍している主任ケアマネジャーに担当してもらったの実習を行う等、新任でも安心して就業できるよう支援しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・地域ケア会議の個別のケースでは、中国残留邦人等のコミュニケーションが困難でかつ認知症の課題を抱えた方への支援についてと、親世代に介護が必要となり子世代は障害を持つ世帯構造の方への支援について、地域住民と専門職で意見交換を行いました。
- ・地域ケア会議の包括レベルのケースでは、地域の移送サービスについてと、地域住民と専門職で考える医療連携についての話し合いを行いました。
- ・泉区の地位包括支援ネットワークの構築をはかるため、泉区在宅医療相談室の主催する多職種による事例検討会や研修会に参加し、多職種との連携の必要性を確認しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・高齢者が具体的なイメージを持って目標を立て意欲的に生活できるよう、地域資源等も取り入れ、本人とも十分に話し合いながらケアプラン作成を行いました。
- ・委託のケアマネジャーに対して担当者会議やケアプラン作成等を通じて、作成についての助言やインフォーマルサービスの情報提供を行い、適切なケアマネジメントができるよう支援しました。
- ・介護予防支援従事者研修を区内6包括の3職種合同で開催しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・介護予防普及啓発強化事業を地区センターと共催し6回コースで実施。生活上の総合的な知識として役立つよう介護予防講座および権利擁護講座を行いました。
- ・元気づくりステーション事業（健好クラブ・スマイル・麦の会）の活動を支援しました。
- ・地域の活動グループや自主グループに介護予防に関する講座や体力測定を実施しました。継続して行うことで自分の体力を知り介護予防に対する意識づけにつながっています。
- ・地域グループのリーダーや担い手の育成としてスキルアップ講座・情報交換会を実施。2回コースでコグニサイズ・コミュニケーション講習を行いました。
- ・地域の歴史を歩きながら学ぶ歴史散策を実施しました。地元の新たな発見になって

います。

- ・地域のシニアクラブやサロンに健口講座を実施しました。
- ・6 包括合同で民間の介護事業者と協力して転倒予防講座を開催。エリアを超えて交流の機会になり介護製品の見学・体験は好評でした・
- ・泉区内のヘルスマイトを対象に認知症の勉強会およびコグニサイズ講習会を行いました。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・設備や建物の劣化による部分を優先順位・緊急性に配慮し、優先順位にて実施し、及び定期的な保守管理を継続的に実施しました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ケアプラザ全体を推進するために各委員会を設置し、分担と連携した効率的な運営を実施しました。
- ・研修委員会、感染対策委員会、避難訓練及び防災対策委員会、広報委員会、苦情及びご意見委員会、事故防止対策委員会等の委員会活動を行い効率的な運営が出来ました。
- ・法人本部で経理・労務業務を担い、業務に専念できるような運営を推進しました。

(3) 苦情受付体制について

- ・ 4 部門（通所介護部門・居宅介護部門・地域交流部門・地域包括支援センター部門）にそれぞれに苦情受付窓口を設けました。
- ・ 窓口を設置してあるご意見箱の活用を利用者に周知し、ご意見箱の活用をPRしました。
- ・ 苦情委員会を設置し、頂いた苦情を検討し改善方法を検討して、全職員へ苦情と対応についてミーティング等で周知しました。
- ・ 年1回部署ごとに利用者アンケートを実施し、利用者からの苦情や意見を伝えられる場として機能させました。また館内に利用者アンケートの結果を公表しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 日常的に館内の巡回を行い防犯・防災を行いました。
- ・ 夜間や休館日は、機械警備に依頼して異常の早期発見に対応しました。
- ・ 特別災害避難場所として災害時における備蓄物を整備しました。
- ・ AEDを設置し、緊急時に対応できるようにしました。
- ・ 自衛消防隊を組織し、年2回のデイサービス利用者・会場利用者も含めた避難訓練を実施しました。また、隣接する市営上飯田第二住宅との合同の訓練も行いました。
- ・ 館内に泉警察署からの防犯情報チラシを提示し、啓発活動を推進しました。

(5) 事故防止への取組について

- ・ 「事故防止対策委員会」を組織し、ヒヤリハット事例を検証し、全員で共有し事故を未然に防ぐ取り組みを進めました。
- ・ 「事故マニュアル」を作成し、事故発生時、適切に対応できるようにしました。
- ・ 職員同士の情報交換や朝夕のミーティングにおいて、経緯・内容等を報告し、改善・対応策等を協議し、情報の共有を図ることが出来ました。
- ・ 職員会議において事故防止に対する対策や研修を行い、危機管理の意識統一を図りました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 全職員に個人情報取り扱い事項を周知するとともに、個人情報保護に関する内部研修を年1回開催しました。また、中途採用職員に対しても、同様の研修を入職時に行いました。
- ・ 書類は直接事業所へ持参することで、誤配布を無くしました。
- ・ 個人情報の含まれるFAXを送信する時には、ご送付を防止するために二人体制で確認しながら行いました。

(7) 情報公開への取組について

- ・ 事業計画書・事業報告書は誰でも閲覧できるように窓口に掲示しました。
- ・ 指定管理者及び事業者として運営規定や重要事項説明書を館内に掲示し情報公開しました。
- ・ ケアプラザ広報誌「いずみ一番館」を年４回季節ごとに発行しケアプラザ事業のPRに努めました。

(8) 人権啓発への取組について

- ・ 年１回、権利擁護に関する研修を職員に向けて行い権利擁護の理解を深めました。
- ・ 館内に人権啓発に関わるポスターを張り、館内利用者に向けて啓発活動を行うことが出来ました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ 花壇の植栽・館内の花飾りを地域住民と協力して行い、環境美化と景観に努めました。
- ・ 日頃から節電・節水を行い省エネに心掛けました。
- ・ 夏季は、ゴーヤ等を植えて緑のカーテンを作り館内の温度上昇を抑えて適正な室内温度が保てました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

常勤 4名 ・ 非常勤 2名

《目標に対する成果等》

- ・ 高齢者が自立して意欲的に生活できるよう、また生活機能の維持・向上をめざして地域のサロンや介護予防事業等を案内してケアプラン作成しました。
- ・ ケアマネジャーをはじめ担当者と共通の認識で支援し、ケアプラン作成についての助言やインフォーマルサービスの情報提供をして、適切なケアマネジメントができるよう支援しました。
- ・ 介護予防支援従事者研修を区内包括3職種と合同で開催しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

-
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 高齢者が多い地域のため自治会・民生委員等と連携して孤立を防ぐよう支援します。
- ・ 地域資源等活用して高齢者が自立して生活できるよう支援します。
- ・ 独居高齢者が多いため、安心して在宅生活を送れるよう関係機関と連携して支援していきます。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。 【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
203	198	207	203	202	202
10月	11月	12月	1月	2月	3月
202	194	204	209	207	205

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- 管理者・主任介護支援専門員 1名
- 常勤職員・介護支援専門員 1名

合計 2名

《目標に対する成果等》

- 事業所内各部署、及び各関係機関との連携強化の為、又、専門技術の向上の為、地域で行なわれる勉強会へ積極的に参加した。
- 他事業所との連携を図り、担当利用者へ安心感を得てもらえるよう心がけた。年に1度の利用者アンケートでも、概ねご満足頂いているとの回答を得ることができた。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 特になし。
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
60	60	64	64	61	61
10月	11月	12月	1月	2月	3月
63	62	61	59	59	56

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 健康チェック（血圧・脈拍・体温・体重測定※月一回）
- 入浴・食事
- 日常動作訓練・レクリエーション・アクティビティー等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 614円
 - （要介護2） 725円
 - （要介護3） 837円
 - （要介護4） 948円
 - （要介護5） 1,060円
- 食費負担 750円
- 入浴費（1回） 54円
- サービス提供体制強化加算（1回） 19円

《提供時間》 9：50 ～ 16：00

《職員体制》

管理者 1名
生活相談員 3名
看護師 2名
介護職員 5名
調理員 4名
運転手（送迎） 3名

《目標に対する成果等》

安全に配慮しながら各個人のニーズに応えられるようにし、必要な援助を行ないました。同世代の方々との交流を楽しんで頂き、心身の健康を長期で維持できるように支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

歩行訓練や手すりを使用しての立ち上がりの訓練を行なっています。折り紙を使って四季折々のものを作ったり、行事を行ない四季を感じながら心身ともに活性化して頂けるように支援しました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
322	335	385	317	337	300
10月	11月	12月	1月	2月	3月
325	327	339	271	280	282

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 健康チェック（血圧・脈拍・体温・体重測定※月一回）
- 入浴・食事
- 日常動作訓練・レクリエーション・アクティビティー等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 （事業対象者） 1,766円 ※週1回の場合
 （要支援1） 1,766円
 （要支援2） 3,621円
- 食費負担 750円
- サービス提供体制強化加算（1か月）支援1 78円 支援2 144円
- 運動器機能向上加算（1か月） 235円

《事業実施日数》 週7日（2019年1月～週6日に変更）

《提供時間》 9:50 ~ 16:00

《職員体制》

管理者 1名	調理員 4名
生活相談員 3名	運転手（送迎） 3名
看護師 2名	
介護職員 5名	

《目標に対する成果等》

安全に配慮しながら各個人のニーズに応えられるようにし、必要な援助を行ないました。同世代の方々との交流を楽しんで頂き、心身の健康を長期で維持できるように支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

歩行訓練や手すりを使用しての立ち上がりの訓練、自宅で出来る運動の提案を行なっています。折り紙を使って四季折々のものを作ったり、行事を行ない四季を感じながら心身ともに活性化して頂けるように支援しました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
12	10	12	9	9	9
10月	11月	12月	1月	2月	3月
9	9	7	7	9	8

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市上飯田地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
高齢者ミニデイサービス 一番館ひろば	高齢者・障がいのある方		地活					
	44回 延べ948名/年		包括					
	0円		生活					
カラオケ一番館	地域住民・高齢者・障がいのある方	¥21,000	地活			¥21,000		
	12回 延べ138名/年		包括					
	0円		生活					
配食グループ かぼちゃの会	独居高齢者・障害のある方	¥41,150	地活					¥41,150
	42回 延べ372名/年		包括					
	1食 450円		生活					
ボランティア交流会 会食会	かぼちゃの会・一番館 ひろばボラ	¥46,500	地活			¥5,000	¥28,000	¥13,500
	2回 95人		包括					
	0円		生活					
花と緑のケアプラザ事業	地域の方	¥40,000	地活				¥40,000	
	年13回 39名		包括					
	0円		生活					
会場利用団体交流会	会場利用団体		地活					
	1回 31人		包括					
	0円		生活					
ふれあい連絡会	地域住民	¥11,770	地活				¥11,770	
	1回 49人		包括					
	0円		生活					
男の料理教室	男性	¥1,814	地活		¥18,700		¥20,514	
	6回 36名		包括					
	3200円		生活					
ジュニアフレンド事業	障がい児		地活					
	1回 延べ27人		包括					
	事業内容により異なる		生活					
上飯田団地いきいきサロン	上飯田団地 高齢者	¥25,000	地活			¥10,000	¥15,000	
	年4回136名		包括					
	0円		生活					
明寿の会	地域の超高齢者		地活					
	2回 延べ4人		包括					
	0円		生活					
上飯田キャラバンメイト 連絡会	上飯田地区キャラバン メイト		地活					
	1回 実施		包括					
	0円		生活					

平成30年度 自主事業収支報告書

出張相談事業及び 介護予防啓発	地域の方		地活					
	4回 33人		包括					
	0円		生活					
介護予防講座	高齢者		地活					
	10～20名		包括			¥57,000	¥44,832	
	0円	¥101,832	生活					
介護予防普及強化事業	65歳以上高齢者		地活					
	1コース 延べ110人		包括			¥52,000		
	0円	¥52,000	生活					
一歩の会	地域の高齢者		地活					
	年50回515名		包括					
	0円		生活					
漫歩クラブ	地域の高齢者		地活					
	年23回実施 293名		包括					
	0円		生活					
向友会	脳いきいき教室 ボラ ンティア		地活					
	延べ50人		包括					
	0円		生活					
脳いきいき教室支援事 業	脳いきいき教室 ボラ ンティア		地活					
	延べ50人		包括					
	0円		生活					
地域福祉祭り 出展協力事業 (いちよう団地・上飯田団 地)	地域の方		地活	¥19,700				
	約200名		包括					¥21,441
	実施内容により異なる	¥1,741	生活					
福祉講演会	地域住民		地活					
	依頼に応じて		包括					
	0円		生活					
焼き芋	地域住民		地活					¥15,954
	年一回 100名		包括					¥5,600
	0円	¥21,554	生活					
一番館ひろば 8月食事会	サロン参加者		地活	¥2,100				
	年一回21名		包括					¥3,530
	参加費100円	¥1,430	生活					
ヘルスマイト	地域住民		地活					
	年2回14名		包括					
	参加費200円	ヘルスマイト負	生活					
大人の散歩	地域住民		地活					
	年1回30名		包括					
	50円	※大人の散歩 実行委員会負 担	生活					
あやめサークル	地域住民		地活					¥30,000
	年31回581名	¥30,000	包括					
	0円		生活					

平成30年度 自主事業報告書

資料4

横浜市上飯田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者ミニデイサービス 一番館ひろば	<p>(目的) 地域の概ね65歳以上が集まり、お茶や食事をしながら、社会交流を広げ、閉じこもり防止や健康づくりを目的に実施。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の場（お茶・おしゃべり） ・健康づくり（体操実施） ・食事会（バランスのよい食事確保） ・レクリエーション 	<p>毎週金曜日 （特別日を 除く） 計43回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カラオケ一番館	<p>(目的) 健康づくりや社会交流の拡大を目的に実施。また、地域の松風学園の入所者も参加され、地域での障がい理解を図る。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいカラオケ（交流） ・健康づくり（発声・姿勢 等） 	<p>毎月第4金曜日 12回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
配食グループ かぼちゃの会	<p>(目的) 一人暮らしの高齢者や障がいのある方を対象にお弁当を作り、届けている。また、一番館ひろば利用者にも提供。バランスのよい食事の確保と季節感を感じられるよう手紙を添えて実施</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス ・配食時における安否確認 ・一番館ひろばへの食事提供 	<p>毎週金曜日 （8月・特別日を 除く） 計40回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あやめサークル	<p>(目的) 講師の指導により、を通じ、健康づくり・社会交流を図る。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体操・ダンス・レクリエーションの実施 	<p>毎月第1・2・4木曜日 （特別日を 除く） 計28回実施</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会 会食会	<p>(目的) 日頃お世話になっている「かぼちゃの会」や「一番館ひろば」のボランティアの慰労会をかねた交流会を開催</p> <p>(内容) ・食事と披露団体による披露</p>	年2回 7月・12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
花と緑のケアプラザづくり事業	<p>(目的) ケアプラザの周囲にある花壇の整備を行う事で環境美化に努める。また、咲いた花は館内に活けて館内の雰囲気作りを目指す。</p> <p>(内容) ・ケアプラザ周囲の花壇の手入れ。</p>	年21回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
会場利用団体交流会	<p>(目的) 上飯田地域ケアプラザを会場として利用している団体の交流と情報交換を目的としている</p> <p>(内容) ・団体の活動PR・館内の大掃除</p>	年1回 12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい連絡会	<p>(目的) まだ地域活動に繋がっていない住民に向けた地域活動のPRと担い手の発掘。上飯田地区で実施</p> <p>(内容) ・地域活動団体の紹介と担い手の発掘</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
一番館ひろば 8月食事会	<p>(目的) かぼちゃの会のお弁当が8月はお休みななので、一番館ひろばのボランティアと参加者が協力して昼食を準備して一番館ひろばを楽しむことで、夏の居場所、見守りを実施する。</p> <p>(内容)</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジュニアフレンド事業	<p>(目的) 泉区内在住で知的障害児者余暇支援を企画する事業。泉区内ケアプラザが順番に季節ごとの事業を企画している。毎月実行委員会を行っている。</p> <p>(内容) ・定例会（情報交換 等）</p>	春・夏 2回実施

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいき教室 支援事業	<p>(目的) 認知症予防を目的として小地域で開催されている脳いきいき教室のボランティアを対象にしたスキルアップ事業</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防教室支援事業の実施 ・担い手の後方支援・情報交換 	各地域で活動している脳行き教室でそれぞれ1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉祭り出展・ 協力事業	<p>(目的) 上飯田団地福祉祭り・いちょう団地福祉祭り・上飯田連合祭りに出展・協力し、ケアプラザの周知・拡大とともに福祉相談や地域福祉保健計画の普及支援を実施。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉相談の実施 ・模擬店の実施 	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上飯田団地 いきいきサロン	<p>(目的) 上飯田団地における独居・高齢者の増加による見守り活動の推進。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上飯田団地見守り事業 	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上飯田キャラバン メイト連絡会	<p>(目的) 上飯田地域における認知症理解・予防の普及・啓発に向け、連絡会の実施。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上飯田キャラバンメイト連絡会（情報共有・勉強会・サポーター養成講座打ち合わせ等）の実施 	不定期 年1回 実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
明寿の会	<p>(目的) 高齢のため外出がおっくうになり、外部の人との交流が希薄になる高齢者を対象にしたサロン。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手芸等、レクリエーション ・食事会 	年6回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談事業及 び介護予防啓発	<p>(目的) ケアプラザに遠いエリア内住民のために地域に出向いて相談業務を行う。同時に介護予防の情報提供をしながら、取り組むきっかけ作りを行う。また、二次予防事業対象者の把握をする。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護に関する相談 	年3回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防 講座	<p>(目的) 講座を通じて健康づくり・交流の機会を作る</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内全域を対象に興味のある講座に参加できるよう5包 括協働で連続して開催。 	5月～7月 5回コース実施

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及啓発強化事業	<p>(目的) 身近な地域で介護予防を意識し、具体的な取り組みを始めるきっかけとなる機会を提供する。 日常生活の中で身体状況に応じた介護予防活動を実践する高齢者が増えることをめざす。</p> <p>(内容) ・介護予防に関する知識の習得 ・自ら介護予防に取り組むためのきっかけ作り</p>	5月～7月 4回コースで実施 担い手講習会 地域6カ所で開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
一步の会	<p>(目的) 在宅において自立した生活が送れるように、体操や運動を通じて体力及び筋力の維持・向上を図る。</p> <p>(内容) ・転倒骨折予防体操の実施教室OB会</p>	毎水曜日 (特別日を除く) 49回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
漫歩クラブ	<p>(目的) 在宅において自立した生活が送れるように、体操や運動を通じて体力及び筋力の維持・向上を図る。</p> <p>(内容) ・体力向上プログラムOB会 ・体力測定・講座を開催し、意識を高める。</p>	毎月第1・3 土曜日 24回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康フェア向友会	<p>(目的) ・地域の老人会が主催する健康フェアへの支援</p> <p>(内容) ・介護予防・体力作りに関する講座</p>	年1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あじさいクラブ 上飯田	<p>(目的) ・運動を通じて体力・筋力の維持向上を図る</p> <p>(内容) ・ヨガ・ストレッチ</p>	毎月第2木 第4水

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の散歩を楽しむ会 上飯田ウォーキング	<p>(目的) ・ウォーキングを通して健康づくりと交流</p> <p>(内容) ・上飯田の地域をのんびりお散歩</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
焼き芋	<p>(目的) ・多世代交流及び障がい者と地域との交流</p> <p>(内容) ・焼き芋大会開催</p>	年1回